

## 「一般国道 403 号道路拡幅整備に係る環境影響評価方法書」に対する質問等への事業者回答

No.	環境要素等	意見等の内容	【事業者】回答
1	大気質	光化学オキシダントについて、大陸からの影響もあるため現在は正確に予測することが難しいとされています。現時点で基準未達成ですが、どのように判断するのでしょうか。	<p>光化学オキシダントは、窒素酸化物等が太陽光の作用によって光化学的反応を起こし、二次的に生成される物質であり、本事業によって直接排出される物質ではないため、環境影響評価項目に選定しておりません。</p> <p>なお、光化学オキシダントの原因物質のひとつである窒素酸化物は、大気質の環境影響評価項目として選定しており、調査、予測及び評価の対象としています。</p>
2	騒音	方法書 p. 4-13 (表 4. 4. 2) の将来の等価騒音レベルの予測結果について、道路の断面構造や交通量が大きく変わらないのに、(4) 秋葉区古田の夜間の値が他の地点と比較して低いのは何故でしょうか。	<p>ご指摘の方法書で示した予測結果は、配慮書で行った概略予測結果を引用しておりますが、当該予測で採用した交通量条件（平成 8 年都市計画決定時の平成 12 年将来交通量）は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 江南区茅野山 : 35, 500 台/日</li> <li>(2) 秋葉区車場 : 36, 200 台/日</li> <li>(3) 秋葉区北上 : 37, 500 台/日</li> <li>(4) 秋葉区古田 : 21, 900 台/日</li> </ul> <p>配慮書では、上記の計画交通量に対し、秋葉区車場の現況調査結果に基づき、1 時間交通量の比率ならびに大型車混入率を当てはめ、各予測地点の大型車、小型車それぞれの 1 時間交通量を推計した上で、時間帯別の騒音レベルを予測しています。このとき、夜間の時間帯別交通量が、(4) は他の 3 地点の 6 割程度と小さく、このことが予測結果に反映し、当該地点の夜間の値が低い結果となっております。</p> <p>なお、配慮書段階では、交通量の変化量のみを予測条件とした概略予測としており、断面構造等の条件は反映しておりません。</p>

3	水質	1 回目審査会資料 2 の p. 23(方法書 p. 7-49 図 7. 4. 1) の水質の予測地点について、(2) 荻川排水路は、国道 403 号に並行して流れる排水路のことでしょうか。それとも、国道からは少し離れた田んぼの間を流れる排水路でしょうか。(地図上の (2) 付近に、写真にあるような横に並木のある水路がなさそうでした)。	荻川排水路は、国道 403 号に平行して流れ、調査地点とした (2) 付近で西向き (信濃川方向) へ直角に曲がって流下する水路です。写真は国道 403 号と平行する箇所を撮影しており、(2) の位置と不整合となっていました。 準備書以降では正しい位置に修正します。
4	水質	新潟市で水質汚濁に関する公害苦情が 18 件 (令和 5 年) 発生していると書かれています。それは、今回の工事が助長するものではないと考えていいのでしょうか。	令和 5 年度の水質汚濁に関する公害苦情 18 件は、新潟市全体での苦情件数であり、本事業実施に関する苦情ではないことを所管課へ確認済みです。 事業実施にあたっては、本環境影響評価手続き等を踏まえ、十分環境に配慮しながら工事を実施していきます。
5	その他	周辺自治体及びコミュニティからの要望はどのようなものでしたでしょうか。(運転速度、渋滞解消等の交通流の改善のみを求めるものか、周辺生活環境及び自然環境への配慮も求めるものだったのか。)	令和 6 年 1 月に、秋葉区コミュニティ協議会や新津商工会議所等などから、一般国道 403 号 (茅野山 IC～古田交差点) の渋滞解消、物流軸の強化のため、当該区間の 4 車線化の早期事業着手などの要望を受けています。

【その他】

No.	環境要素等	その他意見等の内容	【事業者】回答
1	その他	1 回目審査会資料 2 の p. 13 に掲載された新橋架橋イメージ写真は上下が反転しています。再度この地図を利用する場合は修正をお願いします。（方法書、要約書の図 2.7.1 は正しく記載されています。）	説明資料（資料 2）に掲載のイメージ図が左右反転していたため、資料を修正し再度提示します。（下図のとおり）



修正前



修正後